

# 関西大学独逸文学会 行事記録

(平成8年1月~12月)

○平成8年7月13日 平成8年度総会及び第83回研究発表会

## 総会議事

- 1) 会長挨拶……………丸山三友氏
- 2) 編集報告……………渡辺有而氏
- 3) 会計報告……………杉谷眞佐子氏

## 研究発表

ピューラーの記号論——叙述と表出の問題を中心に——  
……………山取清氏

## 講演

Vom Volk der Dichter und Denker zum Volk der Richter und  
Henker. Eine mediengeschichtliche Betrachtung  
……………K. Ludwig Pfeiffer 氏

○平成8年12月14日 第84回研究発表会

会長挨拶……………丸山三友氏

## 研究発表

Jacobi と Mendelssohn のスピノザ論争を中心に  
……………芳原政弘氏

## 「独逸文学」42号執筆申し込み要領

### 1. 申し込み方法

執筆希望者は、平成9年7月の総会終了時までに文書で編集委員会に申し出ること。

### 2. 原稿について

i) 日本文の場合、論文は本文・注を合計し、400字詰横書原稿用紙**40枚**、別に500語程度のドイツ文のレジюмеを添えること。書評・紹介は同上用紙**20枚**、レジюмеは不要。ワープロ打ちの場合は横33字、縦31行で論文は16枚、書評・紹介は8枚とし、A4版の用紙を使用すること。

ii) ドイツ文の場合、本文・注を合計し、**5000語**（タイプ印字）程度、レジюмеは不要。

いずれも**完全原稿**を平成9年9月10日までに、編集委員会に送付。その際、題目と氏名を日本文・ドイツ文で別紙に記したものを添えること。

執筆申し込み、論文要旨、原稿送付とも**締切り厳守**のこと。なお、執筆申し込みの際、「独逸文学」執筆要領を請求の上、これに従って**完全原稿**を提出のこと。校正段階での訂正は誤植に限り、原稿の加筆・削除・修正は行わないこと。

掲載紙面の都合上、投稿原稿の採用の有無については編集委員会に一任のこと。

# 関西大学独逸文学会会則

(平成9年3月15日現在)

- 第1条 本学会は関西大学独逸文学会と称する
- 第2条 本学会は独逸文学・独逸語学の研究および普及をはかることを目的とする
- 第3条 本学会は前条の目的を達成するために次の事業を行う
1. 毎年1回総会を開く
  2. 毎年2回研究発表会を開く
  3. 毎年機関誌を発行する
  4. その他研究会、講演会などを行う
- 第4条 本学会は次の会員で組織する
1. 本学ドイツ文学科の教授・助教授・専任講師及び助手
  2. 本学の教授・助教授・講師および助手の有志者
  3. 本学ドイツ文学科学生・院生
  4. 本学学生・院生ならびに卒業生の有志者
  5. その他本学会の趣旨に賛同する者
- 第5条 本学会は会長1名・委員および幹事それぞれ若干名を置く
1. 委員は本学ドイツ文学科の教授・助教授および専任講師とする
  2. 会長は委員会が会員中から推薦する任期は2年とし重任を妨げない
  3. 幹事は本学ドイツ文学科の助手・および互選された学生・院生・卒業生の若干名に委員が委嘱する  
任期は1年とし留任を妨げない
- 第6条 機関誌の編集委員は本学会の委員の互選による若干名とする
- 第7条 会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする
- 第8条 会費は年額3,000円とする
- 第9条 本学会の事務所は本学文学部ドイツ文学科研究室に置く
- 第10条 会則の変更は委員会を経て総会の審議によって行う

### 執筆者紹介（掲載順）

- 鈴木 直行 天理大学助教授
- 須 磨 肇 関西大学非常勤講師
- 奥 田 誠 司 関西大学非常勤講師
- 永 井 達 夫 関西大学非常勤講師
- 平 井 昌 也 平成 9 年 3 月 関西大学大学院博士課程後期修了見込
- 藪 前 由 紀 関西大学非常勤講師
- 志 田 章 関西大学非常勤講師
- 金 子 哲 太 平成 9 年 3 月 関西大学大学院博士課程後期修了見込
- 井 上 勉 徳島文理大学助教授
- Joachim Hey ドイツ連邦共和国大阪総領事館文化担当アタッシェ
- 山 取 清 近畿大学助教授
- K. Ludwig Pfeiffer  
ズイーゲン大学教授